

はじめに

この度は2017年度のF同の展示に足を運んでいただき、そしてこの会誌を手にとっていただきありがとうございます。

『藤子不二雄同好会』という名の通り、会員の関心が藤子不二雄のお二方の膨大な作品群に広く及ぶのはもちろんですが、お二方のたどってきた道に興味を抱いている会員も少なくありません。つまり『まんが道』で描かれたような彼らの経歴の探訪、そして今もなおご存命でいらっしゃる藤子不二雄^①先生の応援まで…。作品に魅せられてその作者のことを深く知りたくなるのはごく普通のことですが、作者のことをより深く知ることによって今度は作品の魅力が何層にも増すから面白い。このサイクルはいくらでも繰り返せるように思えます。つまり同好会は底なし沼です。もっと良い表現があるとは思いますが、沈めば沈むほどうれしい沼です。底の方を覗くと先輩方が手を振っています。

この会誌は自由投稿、合宿記、テーマ投稿、そしてメンバー紹介で成っています。会員の関心の対象が様々であることを感じていただけることでしょうか。そして読者の皆様が、読み進めるうちに沼に沈んでゆくような感覚におちいられたならば、この会誌の目的は達成されたように思います。

京都大学藤子不二雄同好会 7代目会長 清水優

